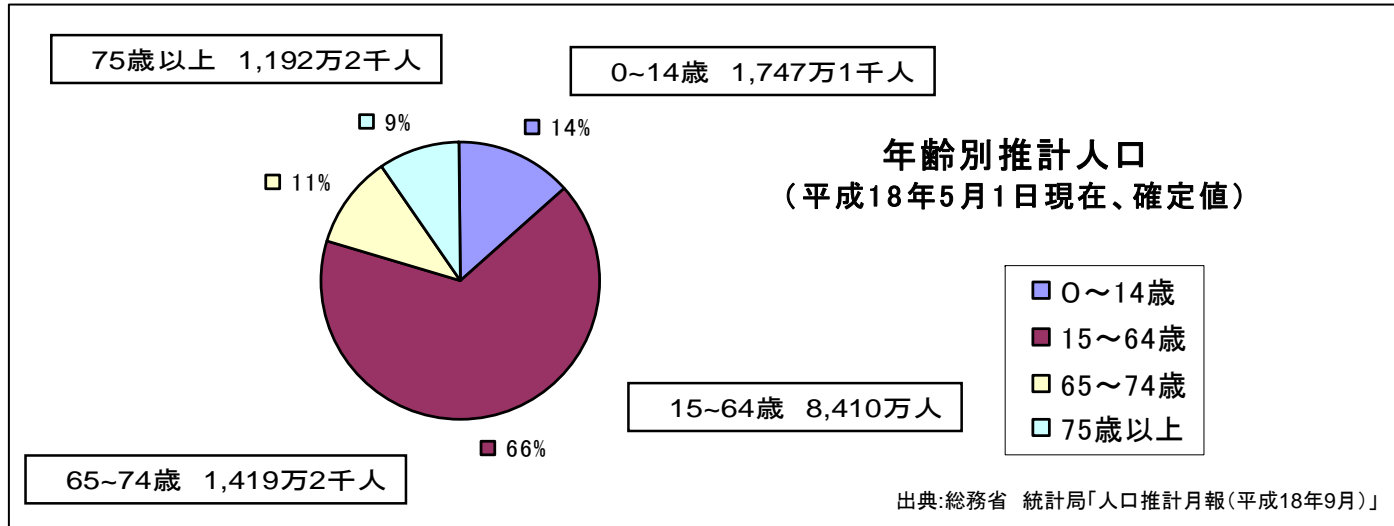


第 1 回 社 会 保 障 審 議 会 後 期 高 齢 者 医 療 の 在 り 方 に 関 す る 特 別 部 会	資料 4
平 成 1 8 年 1 0 月 5 日	

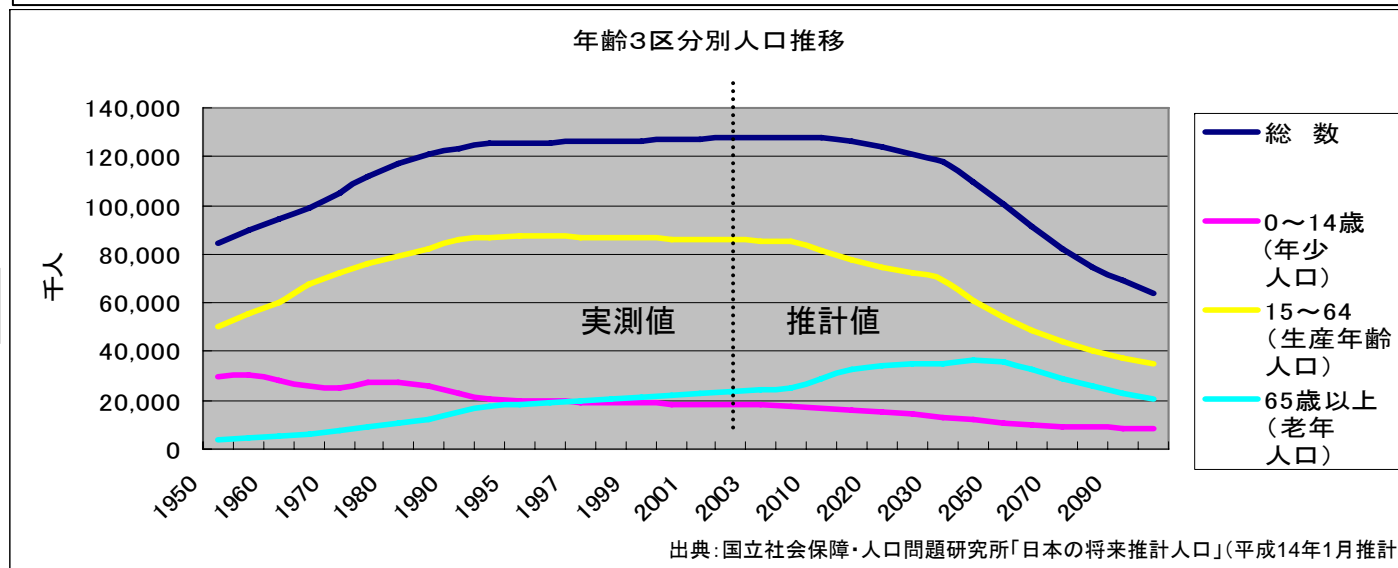
# 後期高齢者医療について

- ・日本の総人口 1億2,768万6千人(2006年5月)、うち後期高齢者(75歳以上)は1,192万で全体の9%を占める。
- ・2025年には老年人口割合(65歳以上)は3,472万人(全体の28.7%)、2050年には3,586万人(35.7%)になることが推測される。

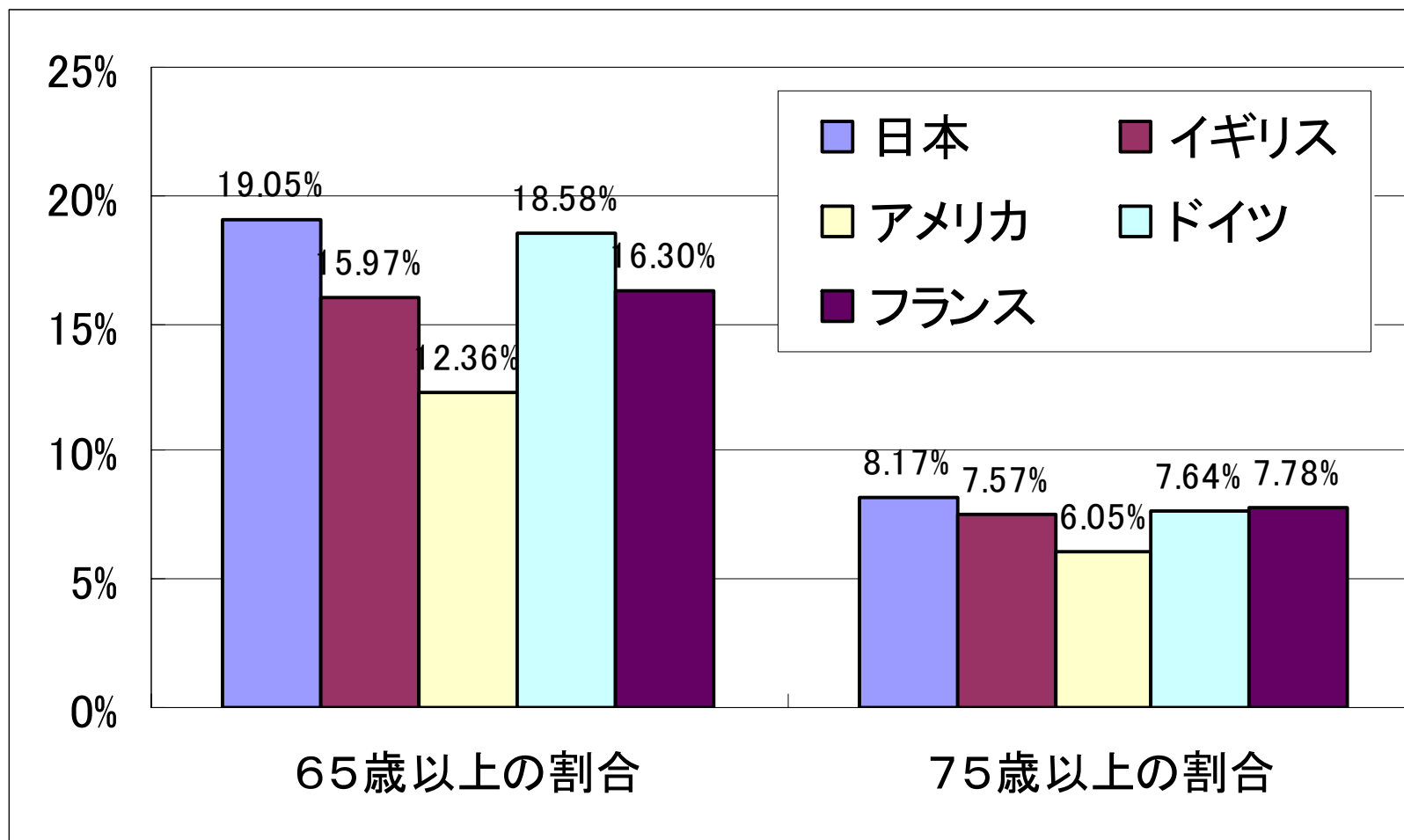
現在



将来推計



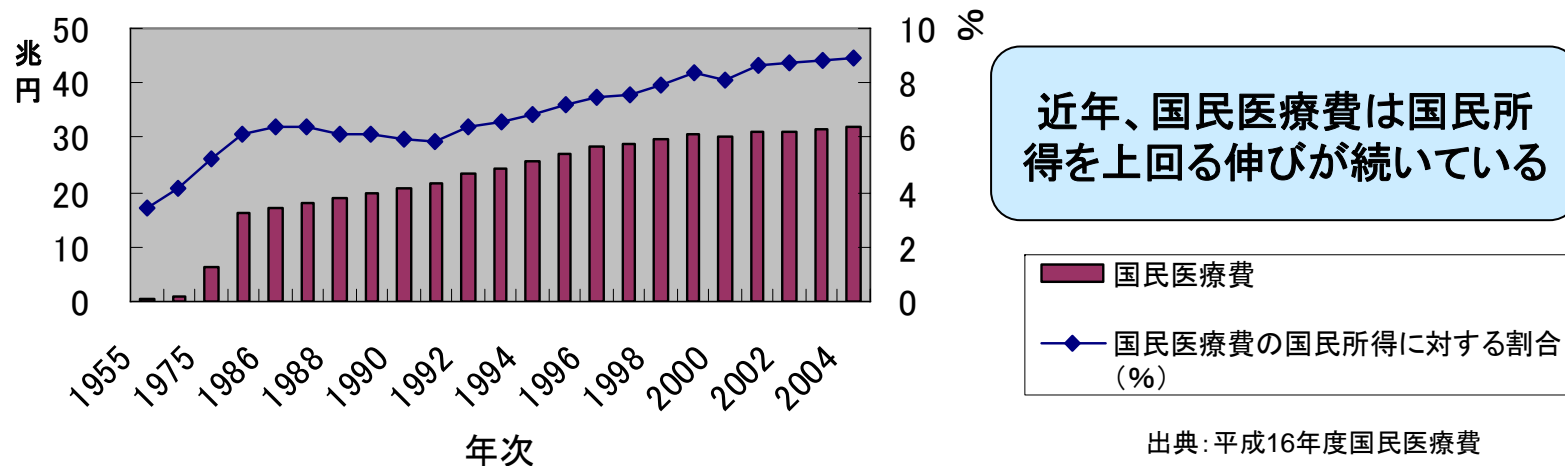
# 各国の高齢者比率について(2003年)



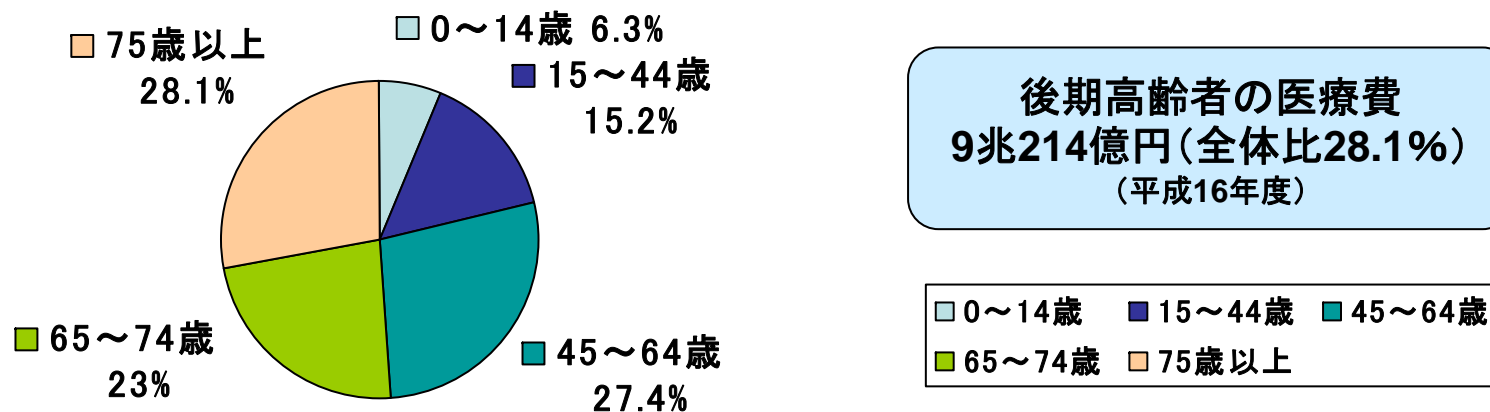
出典: OECD HEALTH DATA 2006 (各国の2003年人口構成割合のデータから作成)

# 国民医療費の動向

## 国民医療費と国民所得



## 高齢者の医療費に占める割合(2004年度)



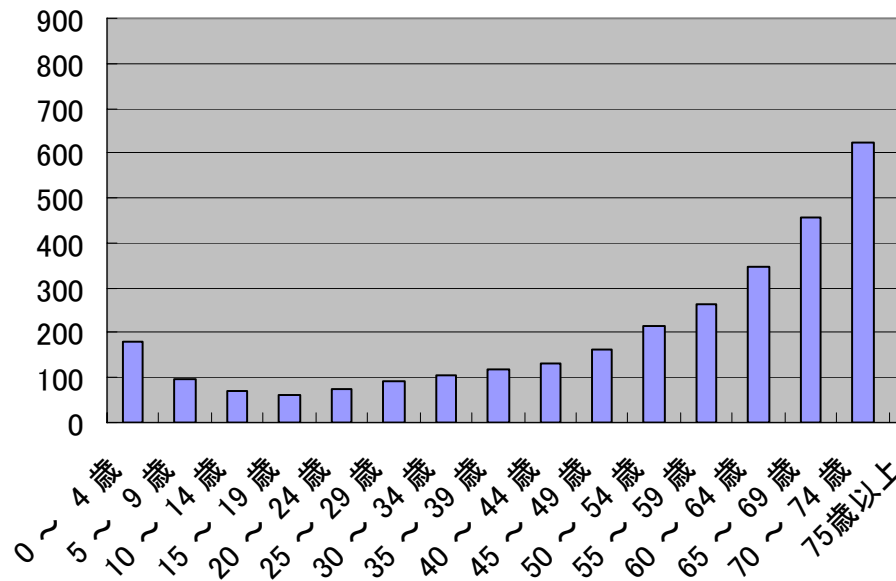
出典: 平成16年度国民医療費

# 医療費からみた後期高齢者

- ・年齢が上がるほど、一人当たりの医療費は高くなっている。
- ・特に入院医療費に占める後期高齢者の割合が高い

千円／年間

国民一人当たり医療費（2004年度）

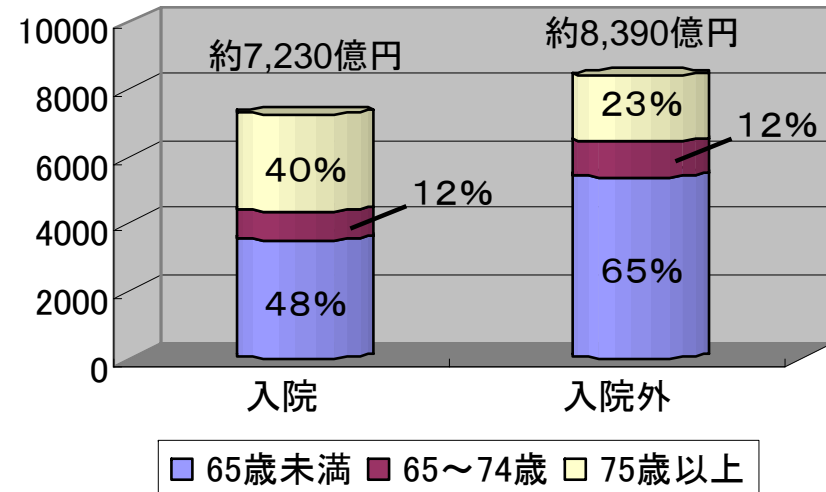


出典：平成16年度国民医療費

高齢者の医療費全体に占める割合

(平成16年6月審査分)

億円／月

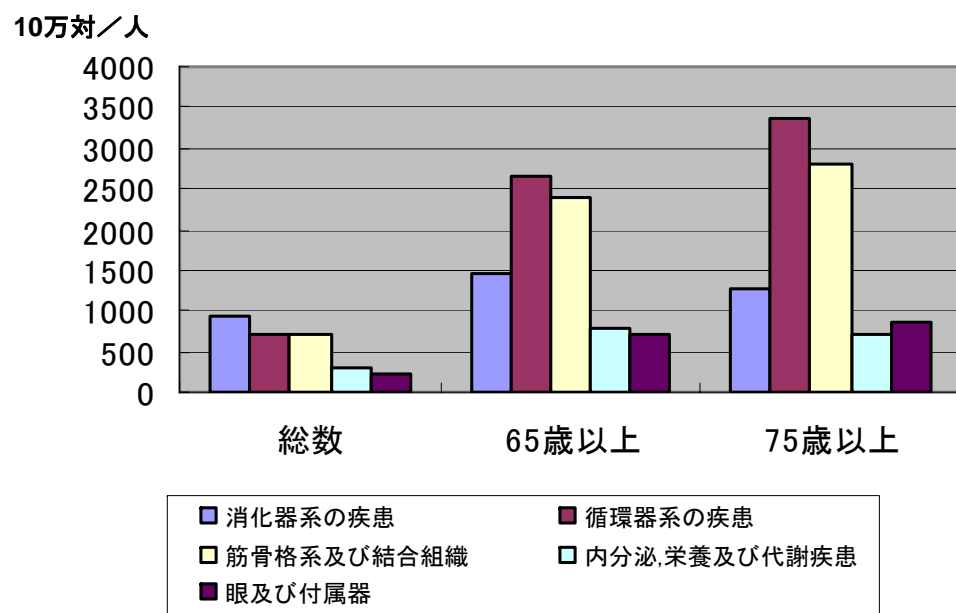


出典：平成16年社会医療診療行為別調査

# 後期高齢者の心身の特性と外来医療

- ・後期高齢者では、特に循環器系疾患と筋骨格系疾患による外来受療率が増加する。
- ・循環器系疾患では特に高血圧による受診が多い。

外来受療率(人口10万対)傷病分類別(2002年)



	総 数	65歳以上	75歳以上
循環器系の疾患	704	2653	3352
高血圧性疾患(再掲)	466	1706	2057
心疾患(高血圧性のものを除く)(再掲)	110	439	613
虚血性心疾患(再掲)	60	244	331
脳血管疾患(再掲)	97	412	579
筋骨格系及び結合組織の疾患	693	2402	2787
炎症性多発性関節障害(再掲)	46	122	122
関節症(再掲)	143	614	750
脊柱障害(再掲)	366	1229	1397
骨の密度及び構造の障害(再掲)	49	230	324

出典:平成14年患者調査

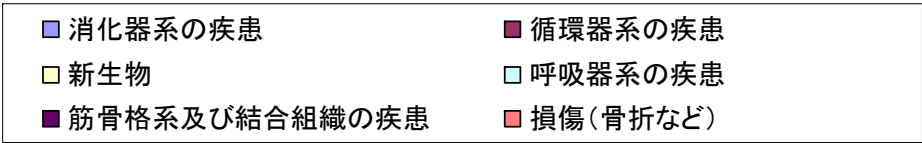
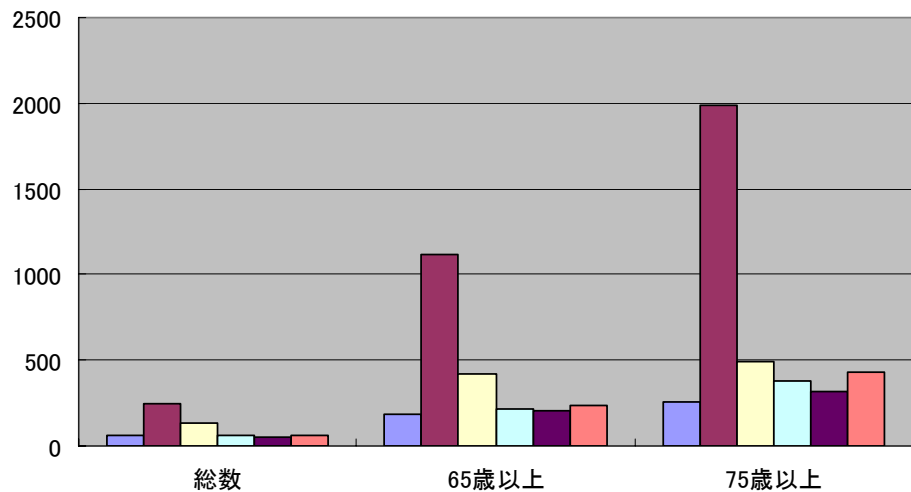
単位:人(人口10万対)

# 後期高齢者の心身の特性と入院医療

- ・後期高齢者では、特に循環器系疾患による入院受療率が増加する。
- ・循環器系疾患のうち、特に脳血管疾患によるものが多い。

入院受療率(人口10万対)傷病分類別(2002年)

10万対/人



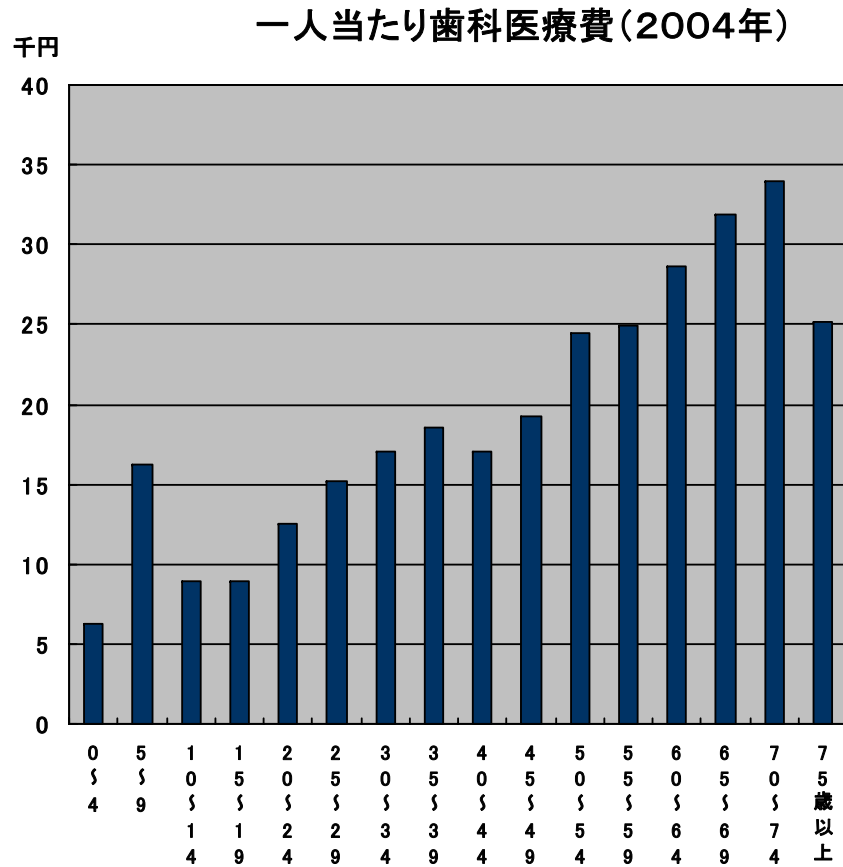
	総数	65歳以上	75歳以上
循環器系の疾患	246	1119	1983
高血圧性疾患(再掲)	11	51	100
心疾患(高血圧性のものを除く)(再掲)	47	208	365
虚血性心疾患(再掲)	19	80	122
脳血管疾患(再掲)	178	823	1462
筋骨格系及び結合組織の疾患	55	201	313
炎症性多発性関節障害(再掲)	8	32	47
関節症(再掲)	11	46	67
脊柱障害(再掲)	24	82	128
骨の密度及び構造の障害(再掲)	3	13	26

単位: 人(人口10万対)

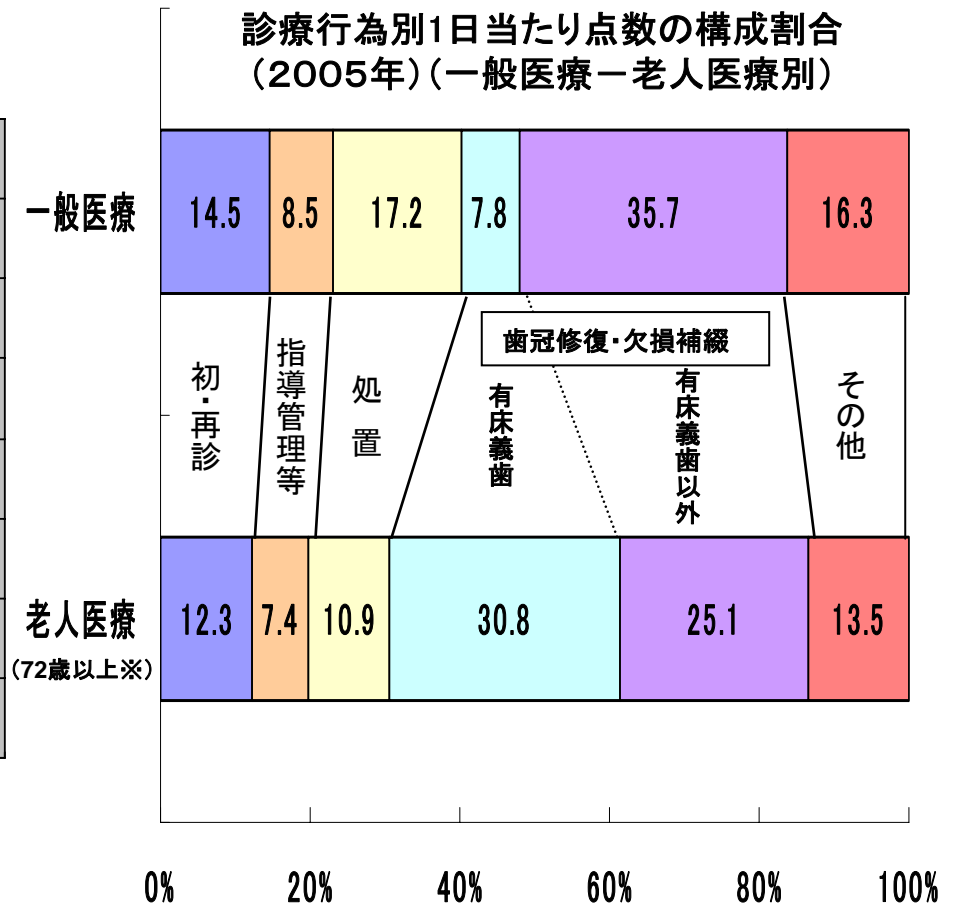
出典: 平成14年患者調査

# 後期高齢者の歯科医療費

後期高齢者の一人当たりの歯科医療費は、前期高齢者に比べて低い。老人歯科医療は、一般歯科医療に比べて「歯冠修復及び欠損補綴」の割合が高い。



出典:平成16年度国民医療費

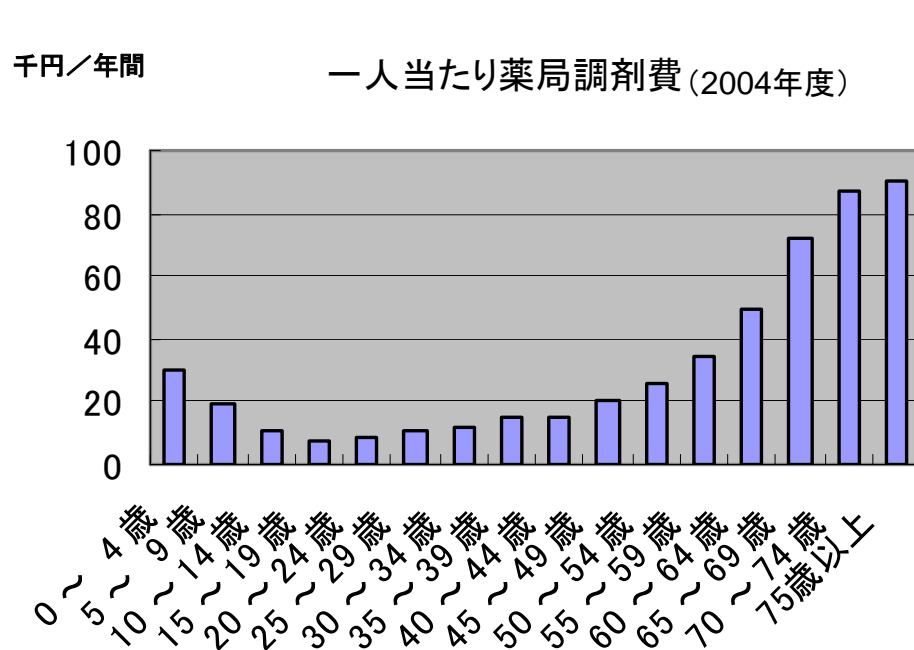


出典:平成17年社会医療診療行為別調査 7  
 ※2005年6月時点における対象者である。



# 後期高齢者の薬剤費

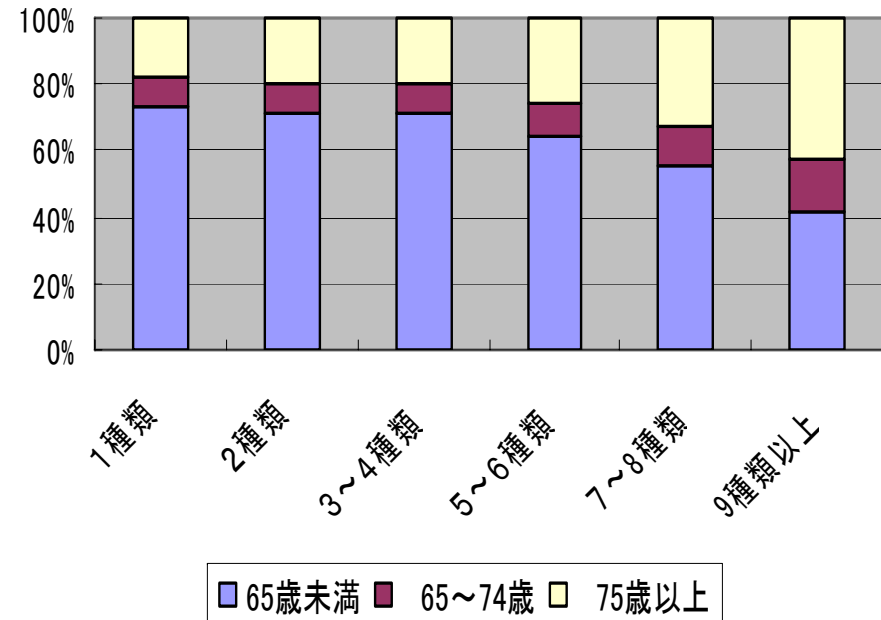
後期高齢者では、一人当たりの薬剤費が75歳未満に比べて高い。特に処方される薬剤の種類が多い傾向が認められる。



出典: 平成16年度国民医療費

件数に占める割合

薬局調剤 1件当たりの薬剤種類数 (2004年)

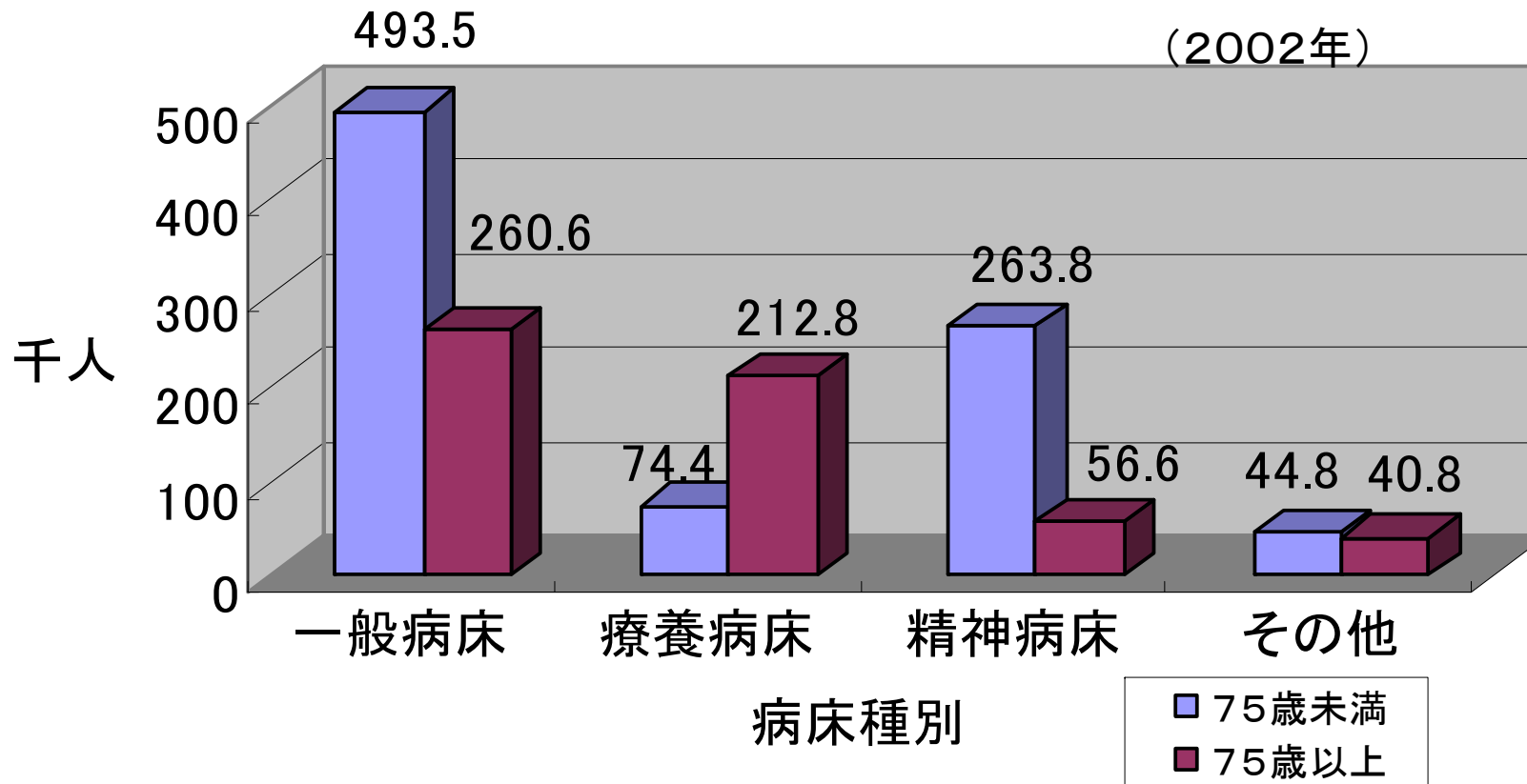


出典: 平成16年社会医療診療行為別調査

# 後期高齢者の入院医療

- ・後期高齢者の入院においては、一般病床に次いで療養病床での入院が多い。
- ・また75歳未満に比べて、療養病床における入院患者数の全体に占める割合も高い。

病床種別別入院患者数



出典：平成14年患者調査

# 医療提供体制の各国比較(2004年)

国名	平均在院日数	人口千人当たり病床数	病床百床当たり医師数	人口千人当たり医師数	病床百床当たり看護職員数	人口千人当たり看護職員数
日本	36.3	14.2	14.3	2.0	63.2	9.0
ドイツ	10.4	8.6	39.5	3.4	112.5	9.7
フランス	13.4	7.5	44.9	3.4	100.0	7.5
イギリス	7.2	4.0	57.0	2.3	226.8	9.2
アメリカ	6.5	3.3	73.3	2.4	233.0 (2002)	7.9 (2002)

(出典)「OECD Health Data 2006」

※病床百床当たりの医師数、病床百床当たりの看護職員数については医師数、看護職員数を病床数で単純に割って百をかけた数値である。

※平均在院日数の算定の対象病床はOECDの統計上、以下の範囲となっている。

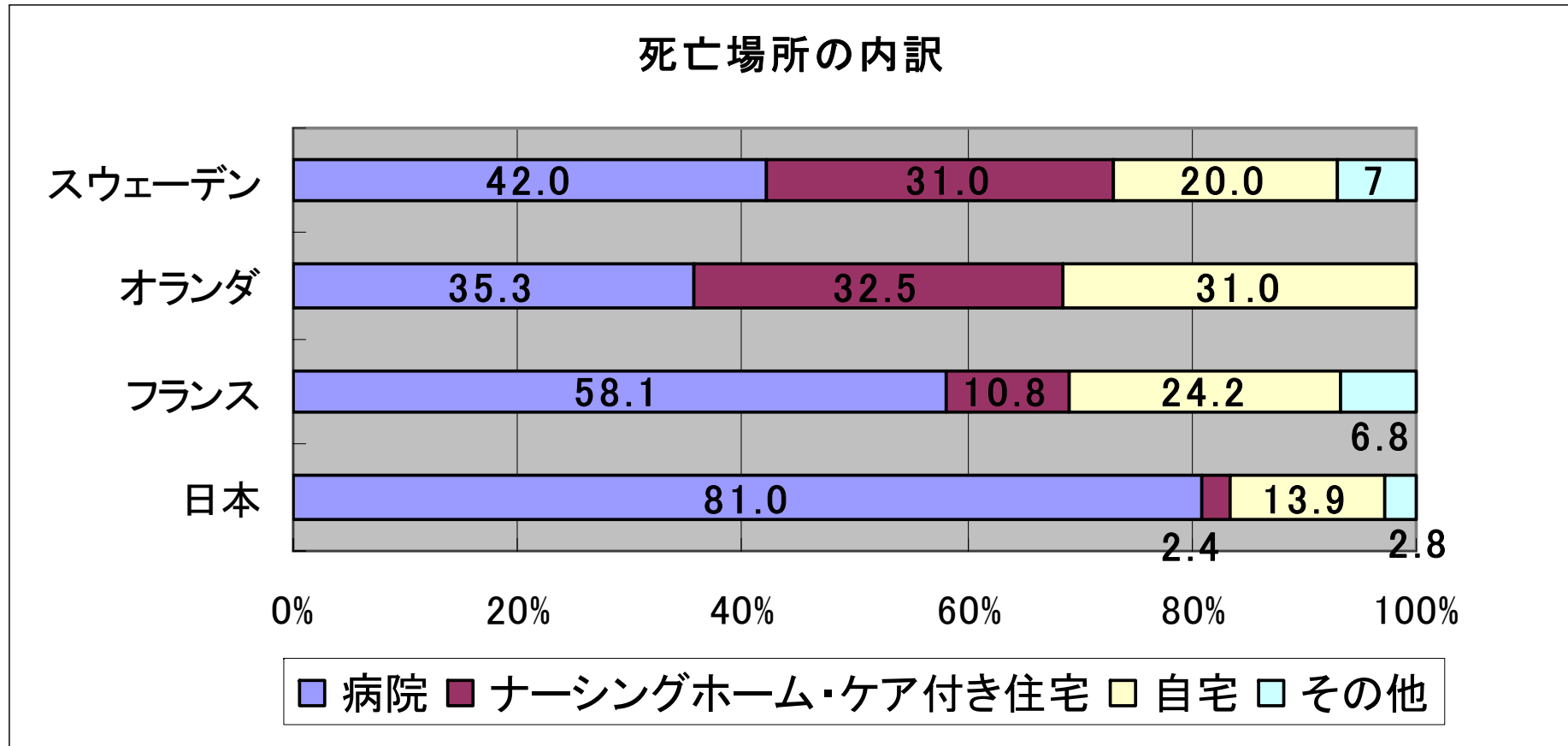
日本:全病院の病床 ドイツ:急性期病床、精神病床、予防治療施設及びリハビリ施設の病床(ナースিংホームの病床を除く)

フランス:急性期病床、長期病床、精神病床、その他の病床 イギリス:NHS(National Health Service:国民保健サービス)の全病床

アメリカ:AHA(American Hospital Association:米国病院協会)に登録されている全病院の病床

(長期病床を除く) 10

# 終末期における医療



出典: 医療経済研究機構  
「要介護高齢者の終末期における医療に関する研究報告書」

(注) 「ナーシングホーム・ケア付き住宅」の中には、オランダとフランスは高齢者ホーム、日本は介護老人保健施設が含まれる。オランダの「自宅」には施設以外の「その他」も含まれる。

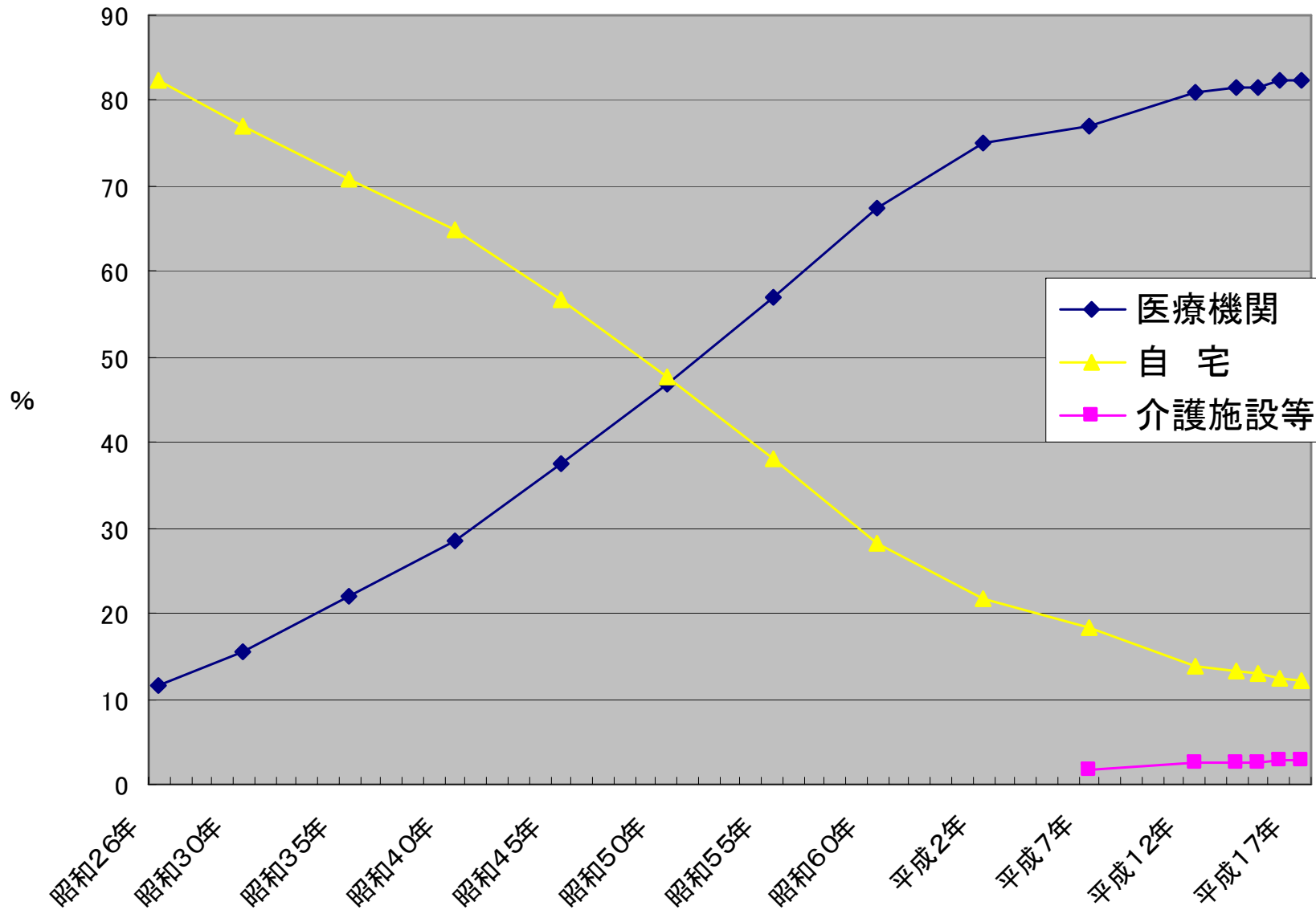
(資料) スウェーデン: Socialstyrelsen 『Döden angår oss alla』による1996年時点(本編 p48)

オランダ: Centraal Bureau voor de Statistiek による1998年時点(本編 p91)

フランス: Institut National des Études Démographiques による1998年時点(本編 p137)

日本: 厚生労働省大臣官房統計情報部『人口動態統計』による2000年時点

# 死亡の場所別にみた死亡数構成割合の年次推移

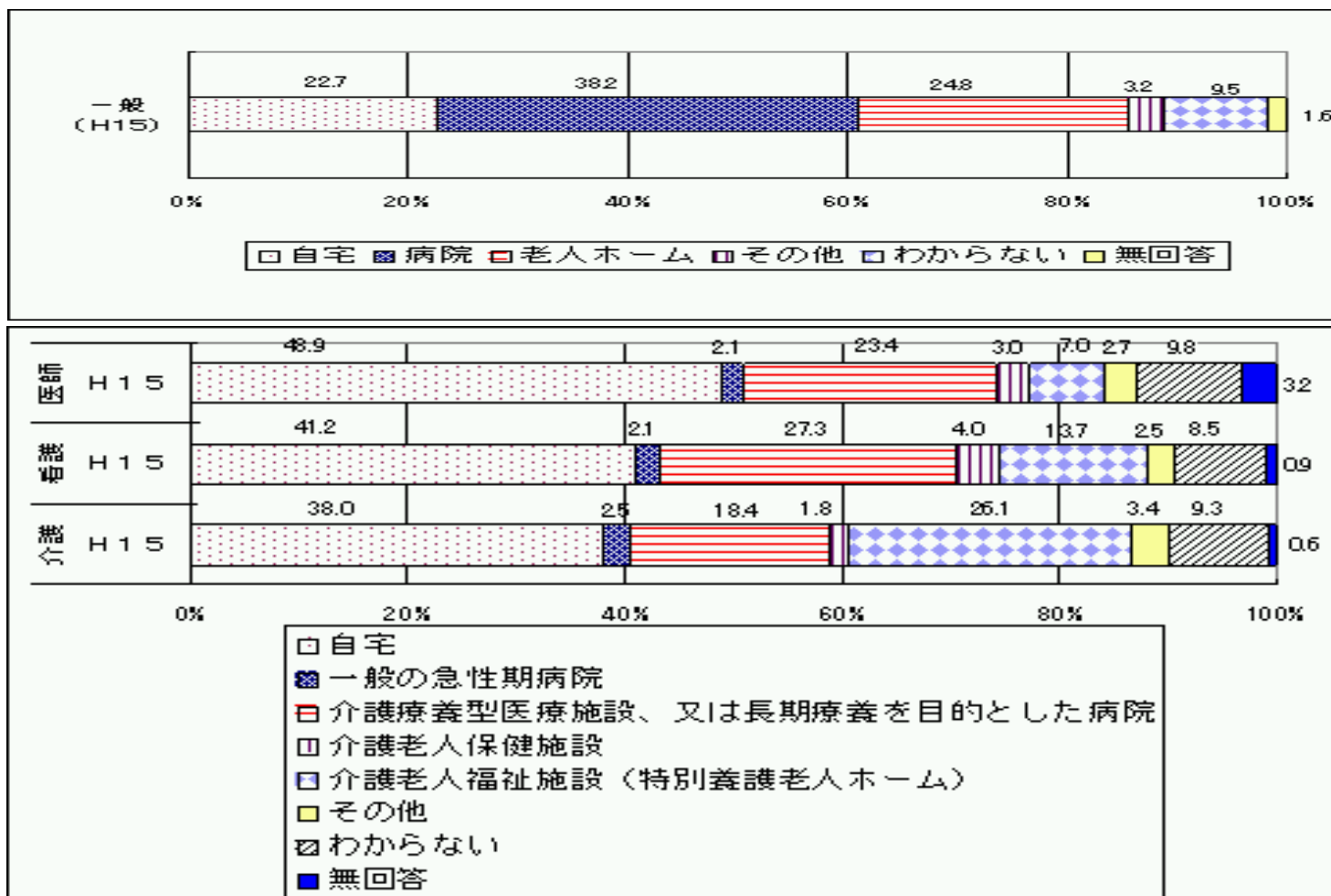


出典：平成17年人口動態統計(厚生労働省大臣官房統計情報部)

# 終末期医療に対する国民の意識

～厚生労働省「終末期医療に関する調査等検討会」調査結果※～  
 (平成16年7月 同検討会報告書より抜粋)

問 あなた自身が高齢となり、脳血管障害や痴呆等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない疾病に侵されたと診断された場合、どこで最期まで療養したいですか。



※平成10年及び平成15年において、一般患者、医師、看護職員及び介護施設職員合わせて約14,000人に対し実施(両回とも回収率50%超)

問 あなたの患者・入所者(家族)が高齢となり、脳血管障害や痴呆等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない状態になった場合、どこで最期まで療養したいですか。

